

新得町地域公共交通活性化協議会

平成24年2月17日設置



概要

新得町は、JR石勝線、根室線を走る列車が交差する新得駅があり、鉄道交通は、帯広方面、札幌方面へ重要な交通手段となっている。また路線バスは、新得市街地から屈足市街地、他町の清水町、鹿追町、音更町、帯広市へ運行しており、幹線の交通については、一定の公共交通サービスを充足しているものと考えられる。しかし、幹線の交通は充実しているものの、その交通につなげるためのフィーダー交通がないため、住宅地と幹線交通の駅や停留所に距離があり、公共交通の利用がしにくい状況となっている。また既存の路線バスは、住宅地を細かく回らず、バス停間隔も離れているため、住民からは「通院や買い物には利用しにくい」などの利便性の向上を求める声がある。新得市街地には公営住宅や団地が多く存在し、昭和50年代に団地造成が行われたため、住民の高齢化が進んでいるが、中心市街地から2km以上離れている団地もあり、自家用車を持たない住民にとっては、日常生活に支障が出る事態となっているほか、高齢者が危険を感じながらも自家用車の運転を余儀なくされているケースもある。また、屈足市街地においては、役場・病院・銀行・公共施設などの主要施設が約6km離れた新得市街地にあるが、既存路線バスの利便性が低いため、同様に自家用車を手放せない状況がある。

○地域公共交通の現況

- ・JR根室線(新得駅)
- ・北海道拓殖バス(株)(4路線)

○地域公共交通の課題

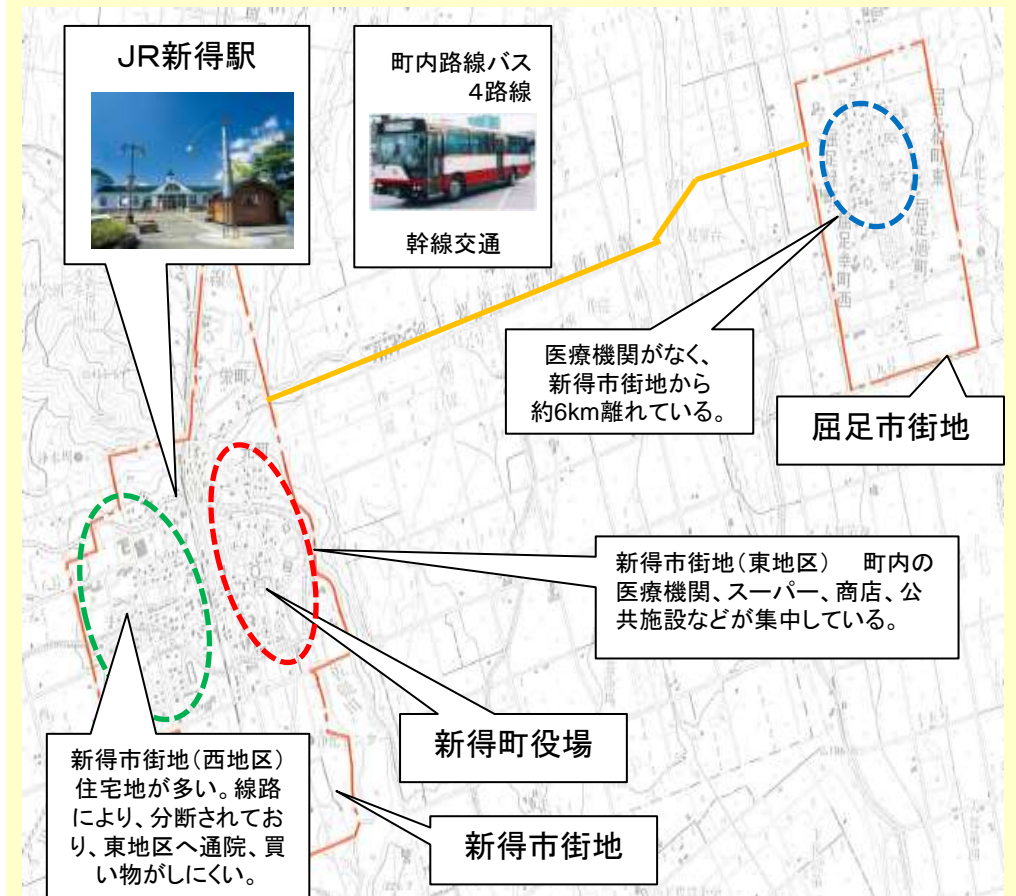
- ・高齢者等に配慮した生活交通の確保
- ・幹線交通へつなげるフィーダー交通の確保

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・町民及び利用者ニーズ把握調査
- ・地域公共交通総合連携計画素案検討

○地域公共交通活性化協議会開催状況

- | | | |
|--------|--------|----------------------------|
| 2月17日 | 第1回協議会 | ・各種規約、役員等について |
| 7月11日 | 第2回協議会 | ・調査業務の仕様・プロポーザルについて |
| 8月3日 | 第3回協議会 | ・プロポーザルの結果について |
| 10月5日 | 第4回協議会 | ・10月の実証運行と調査概要について |
| 12月27日 | 第5回協議会 | ・10月の実証運行の結果報告と2月の実証運行について |
| 3月22日 | 第6回協議会 | ・調査報告書、事業評価について |



新得町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ・現況交通実態調査
→既存データの整理、町内事業者ヒアリングを行う事で、現況交通実態調査を実施した。
- ・町民及び利用者ニーズ把握調査
→町民全世帯へのアンケート調査、実証運行時の利用者へのヒアリング調査を実施した。
- ・地域公共交通総合連携計画素案検討
→町内公共交通の全体像の検討、コミュニティバスの導入検討により素案を策定した。

●調査事業実施の適切性

各調査事業の内容が適切に実施され、今後の計画策定につながる調査となった。

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

- ・今回の調査事業の結果、計画素案をもとに、新得町地域内フィーダー系統確保維持計画を策定する。
- ・地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)の補助を申請し、平成25年10月1日より新得市街地と屈足市街を巡回するコミュニティバスの運行を実施する。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

- ・コミュニティバスの導入に当たっては、既存の路線バスとの役割分担や乗り継ぎ円滑化、町内全体の交通体系のあり方にも留意されたい。
- ・コミュニティバスや路線バスで公共交通のサービスを受けられない地域について、新たな交通システムの導入検討を進められたい。